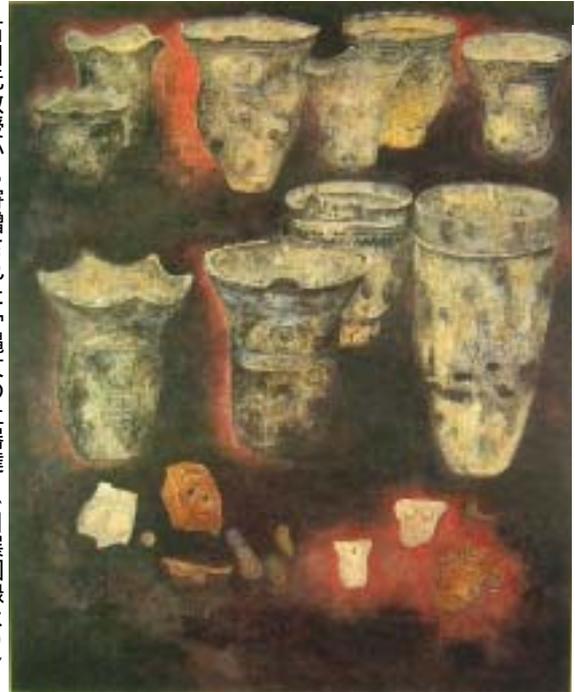


# 石川義先生から作品寄贈

## 真脇出土の縄文土器を描いた大作



石川元教授から寄贈された「縄文の土器達」(日展図録より)

今年三月に金沢学院大学美術化学部教授を退職された石川義先生から十二月二十一日までに、本学へ作品一点が寄贈されました。寄贈作品は、石川元教授が平成八年の第二十八回日展に出品した「縄文の土器達」(150号、縦二一四センチ×横一七二センチ)です。

### 四号館廊下に展示

石川県能登町にある縄文真脇遺跡から出土した縄文時代の土器が圧倒的な存在感を主張して並び、詳細な土器の文様の描写が見る者を古代のロマンへと誘います。同作品は四号館廊下の壁面に展示されます。

## 進路指導を熱く

### 中島布水中校長が講演

アドバイスしました。

東高研修会

金沢東高校の教職員研修会は十二月八日、同校で行われ、野々市町布水中中学校の中島満校長が「金沢東高校に期待する 天下第一の高校創造の一助に」のテーマで講演しました。中島校長は、松任市内の中学校や文部省の派遣で南米パラグアイの日本人学校校長を務めた経験を織り込みながら、進路指導のポイントと成果の挙げ方などを述べ、生徒にとって理解を超えたことを取って



熱弁をふるう中島布水中校長

けて情報探索能力を刺激する方法も提案し、東高校の外部の評価と課題のチェックも行いました。

## 学院大卒業生が 鹿児島県教員に

平成十四年度に金沢学院大学文学部日本文学科を卒業した西小野雄一さんがこのほど、十七年度の鹿児島県教員採用試験に合格し、来年春から中学校の国語教員として教壇に立つことになりました。これでも来年度の公立学校の教員に採用内定した卒業生は石川県二人、長野県一人を含め、合わせて四人となりました。

## 佐藤太清賞展に本学から4人入賞

京都府福知山市が主催する第四回佐藤太清賞公募美術展で、金沢学院大学から出品した十人のうち、美術文化専攻科日本画専攻の山内登喜雄さんと山下晃世さん、美術工芸学科日本画科



## 中国での中産階級形成を葛助教が解説

土曜大学第十回講座 金沢学院大学基礎教育機構主催の土曜大学第十回講座は十二月十八日、二号館教室で行われ、葛慧芬助教が「写真」が「中国社会における中産階級の形成」をテーマに講演しました。

葛助教は、改革開放までの中国社会の階層構造で経済成長と階層変動、中産階級の台頭、中産階級を育成、拡大させる社会・経済的条件、中産階級の成長と拡大の経済的、政治的意味について解説しました。この中で、鄧小平の登場で階級闘争から近代化国家建設へと方向が変わったことが「転機」と述べ、家や自

## 東高校スポーツ大会

金沢東高校のスポーツ大会は十二月二十一、二十二日に行われました。全校生徒がクラス対抗でバスケットボール、バレーボール、大縄跳び、個人戦で卓球に挑み、寒さを吹き飛ばす熱戦を見せました。



熱戦のバレーボール

発行・広報室